



2026年2月20日

各位

会社名 SEMITEC 株式会社
代表者名 代表取締役社長 石塚大助
(コード番号: 6626)
問合せ先 取締役管理本部長 小島一浩
(TEL. 03-3621-1155)

千葉 および 山口の工場建設に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、「薄膜サーミスタ」の需要拡大に対応するため、当社千葉工場敷地内に新棟を建設するとともに、山口県宇部市に新たに国内第2生産拠点を建設することを決定しました。併せて、これらの施策が生産能力強化およびBCPの観点での優先度が高いことを踏まえ、2025年1月24日に公表した新社屋の建設計画については、当面中断することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 工場建設の目的

当社の薄膜サーミスタは、医療分野における安定した需要に加え、その他用途でも採用が広がりつつあり、市場拡大が期待されます。こうした状況を踏まえ、当社は2023年12月22日に公表した「設備投資（薄膜サーミスタセンサ用）に関するお知らせ」のとおり生産能力の増強を進めております。

しかしながら、将来的には、想定を上回る需要増加が見込まれることにより、現在進めている千葉工場の生産能力増強だけでは、中長期的に再び供給能力が不足する可能性が高まっています。また、お客様および社会に継続的な価値を提供していくためには、事業継続性の確保およびサプライチェーン強靱化の重要性が一段と増しており、単一拠点への依存を解消する体制整備が急務となっています。

このような背景から、千葉工場に新棟を建設し、生産能力をさらに拡張するとともに、山口県宇部市における国内第2生産拠点の新設を進めることといたしました。なお、宇部市での新拠点設置は、2026年3月24日開催予定の宇部市議会における土地売却の議決を前提としております。

また、新社屋建設の計画につきましては、生産能力強化およびBCPの観点から、優先順位を再検討した結果、当面中断することとしました。

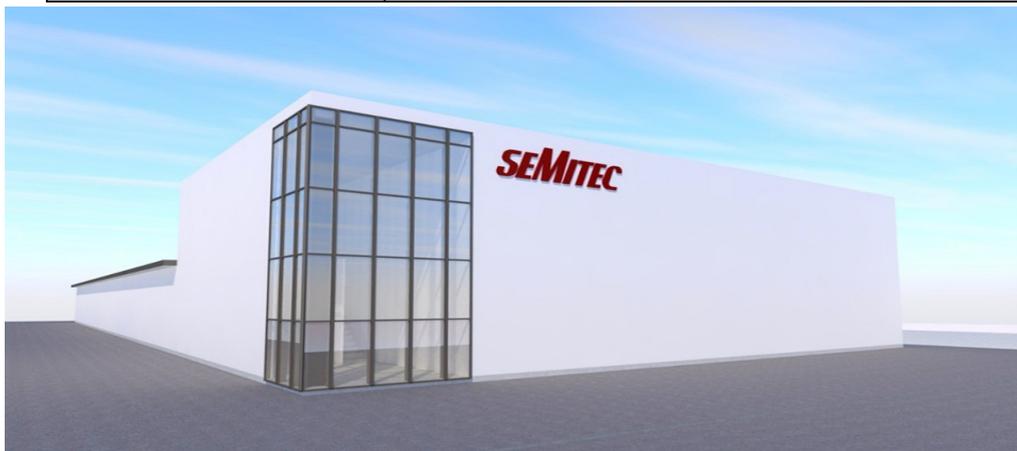
本件により、以下のとおり体制強化を図ります。

- ・ 両拠点で薄膜サーミスタあるいは将来の新製品上市に対応できる拡張スペースを確保
- ・ 約1,000km離れた2拠点体制により、地理的リスク分散とBCP対応力の大幅な向上
- ・ 生産ライン配置の最適化による効率性向上と今後の需要動向への柔軟な対応

2. 千葉 および 山口の工場建設の概要

①千葉の工場建設の概要

(1) 所在地	千葉県千葉市花見川区天戸町
(2) 施設用途	薄膜サーミスタの増産対応
(3) 着工予定	2026年12月(予定)
(4) 完成予定	2027年12月(予定)
(5) 建設延べ床面積	約2,400㎡(予定)
(6) 投資額	約25億円(予定)



②山口の工場建設の概要

(1) 所在地	山口県宇部市大字西岐波
(2) 施設用途	薄膜サーミスタおよびバルクサーミスタの生産対応
(3) 着工予定	2026年9月(予定)
(4) 完成予定	2027年7月(予定)
(5) 建設延べ床面積	約2,600㎡(予定)
(6) 投資額	約30億円(予定)



3. 業績の見通し

本件が2026年3月期の連結業績に与える影響はありません。なお、次年度以降の業績に与える影響につきましては必要に応じて開示してまいります。

以上